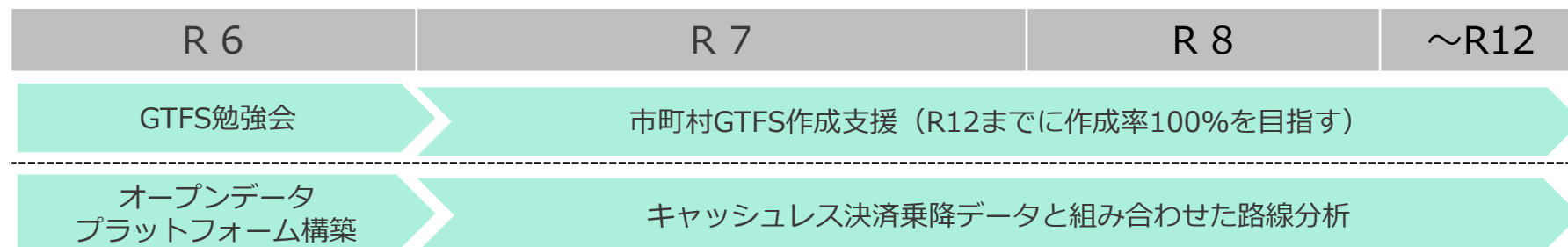


方向性1：福島県地域公共交通利便増進実施計画の変更

- 令和6年度内に県北圏域、県中・県南圏域の地域間幹線系統について、令和7年10月からの再編・見直しを内容とする「地域公共交通利便増進実施計画」を策定
- 輸送量15人未満の系統を中心に**継続検討とされている系統**について、再編等の協議が調い次第、**計画の一部変更**を行うこととし、必要な予算を計上（令和8年4月以降の再編を想定）

方向性2：オープンデータ（GTFS-JP）の整備

- より正確な運行情報の発信を始め、利用者が求める乗換案内や経路検索など利便性の向上を図るため、引き続き、GTFSデータのオープンデータ化を引き続き推進
- 令和7年度は、**市町村等に対するGTFSデータ作成支援を重点的**に行うために必要な予算を計上
 - ・ GTFSデータの基礎勉強会（新規担当者向け）
 - ・ GTFSデータ作成講習会（実際にGTFSデータの作成を演習）
 - ・ GTFSデータサポート講習会（市町村等の要望に合わせて内容を決定、作成作業時の問題点解決等）
 - ・ GTFSデータの更新サポート
 - ・ GTFSデータ作成・更新マニュアルの公開 など



令和7年度協議会事業計画及び予算の方向性（案）

方向性3：地域・企業・学校等と連携したモビリティ・マネジメントの推進【バス関係】

- 利便増進実施計画において再編した系統を中心に、**マイバス意識を醸成**し、バス利用促進を図るための取組に必要な予算を計上
- その他、バスまつり等の開催を支援

想定事業

①見直した系統に係るリーフレットの作成

再編した系統を対象に、再編内容や利用に当たっての関連情報等を周知

②中学生・高校生向けの周知資料の作成

再編した系統の沿線の学校を対象に、公共交通による通学方法等を周知

③学校教育におけるモビリティ・マネジメント

上記①で作成したリーフレット等を活用し、児童・生徒向けにバスに関する学習機会等を設定

④公共交通デジタルマップの保守運用

バスを中心とした公共交通の利用促進のため、令和6年度に構築したデジタルマップの保守運用

第14回福島バスまつり

(令和6年9月14日)



子どもたちに人気を集めた「お絵描きバス」



事業者、自治体等がブースを出展し、2千人が来場

令和7年度協議会事業計画及び予算の方向性（案）

方向性3：地域・企業・学校等と連携したモビリティ・マネジメントの推進【鉄道関係】

- マイレール意識やマイステーション意識の醸成のため、知事と沿線市町村長が地域住民の皆さん等と列車内で意見交換する事業をスタートし、令和7年度以降も継続して実施

磐越東線（川前駅～小川郷駅） を乗車
（令和6年8月9日）



納涼屋台in川前駅前の皆さんと記念撮影

磐越西線（山都駅～塩川駅） を乗車
（令和6年10月4日）



会津喜多方商工会議所、きたかた商工会と意見交換する知事、喜多方市長

水郡線（磐城浅川駅～磐城塙駅） を乗車
（令和6年10月15日）



磐城浅川駅から磐城塙駅間を乗車
左端は元プロ自転車ロードレーサーの下島将輝さん



小川郷の会の皆さんと意見交換する知事、いわき市長



遠足の保育園児たちに手をふる知事ら



下島さんと意見交換する知事、塙町長

令和7年度協議会事業計画及び予算の方向性（案）

方向性4：市町村及び圏域における計画策定等に係る支援

- 制度に係る勉強会の開催など、県に対し技術的支援を求める声が多かったことを踏まえ、**東北運輸局**や共創Maas・実証プロジェクト「**モビリティ人材育成事業**」（①福島大学 吉田樹教授、②博報堂）、**福島相双復興推進機構**等と連携し、地域公共交通計画策定に係るスキルアップセミナー等を開催
- 令和7年度も関係機関等と連携し、勉強会やセミナー等を開催

■ 8月28日（水）

第1回地域交通スキルアップセミナー （サンライフ南相馬）



- 福島大学吉田教授の講演の後、グループワーク形式で「行ける・行けない表」の作成など、交通資源の整理手法や改善方策の検討手法を学ぶ
- このほか、計画策定等に係る個別相談も実施

■ 10月15日（火）

第1回公共交通のデータ活用に係る勉強会 （オンライン）

■ 10月23日（水）

公共交通リ・デザイン 1dayインターンシップ@ いわき市

■ 11月11日（月）

「地域公共交通とライドシェア」セミナーin大熊町

■ 12月10日（火）、11日（水）、17日（火）

第2回公共交通のデータ活用に係る勉強会 （方部別）